

日本語部

Japanese Language Ministry

2024年7月7日

シリーズタイトル: 傑作の誕生

今週のタイトル: **寵愛された息子、嫌われた弟**

創世記 37:1-36

レイ・ハームズウィーブ牧師

あなたの家庭は完璧ですか？ 親は常に公平で、子供はいつも親に従い、兄弟は常々お互いのことを一番に考えている。だとしたらそれよかった！ほぼありえないことです。

聖書が、素晴らしい家庭で育った人が立派な神の人に成長しました、という話だけだとしたら、私たちのほとんどは落胆して終わりでしょう。聖書以外の本を読みたくなるはずです。

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

ありがたいことに、聖書には現実の話が書かれています。使徒パウロはローマ人への手紙 15:4 にこう書いています。「かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができるのです。」

ヨセフの物語を読むと、彼の家庭の中の欠如、無秩序、不公平、機能不全などの中に、神の真理が織り込まれているのがわかります。だからこそ、共感できるのです！

そして、機能不全に陥ったヨセフの家族の物語に織り込まれた神の真理を理解するなら、私たちは希望を持って耐えるよう励まされます。神ご自身が私たちの人生を通して物語を書き記されるからです。

1. 兄弟間の喧嘩 (1-11 節) : 助長させない！
2. 兄弟間の復讐 (12-28 節) : その中に足を踏み入れない！
3. 罪の影響 (29-36 節) : 避けられない！
4. 罪人の贖い : イエスに叫べ！

創世記 37:1-36

1 ヤコブは、父がかつて滞在していたカナン地方に住んでいた。

2 ヤコブの家族の由来は次のとおりである。ヨセフは十七歳のとき、兄たちと羊の群れを飼っていた。まだ若く、父の側女ビルハやジルパの子供たちと一緒にいた。ヨセフは兄たちのことを父に告げ口した。

3 イスラエルは、ヨセフが年寄り子であったので、どの息子よりもかわいがり、彼には裾の長い晴れ着を作ってやった。4 兄たちは、父がどの兄弟よりもヨセフをかわいがるのを見て、ヨセフを憎み、穏やかに話すこともできなかった。

5 ヨセフは夢を見て、それを兄たちに語ったので、彼らはますます憎むようになった。6 ヨセフは言った。

「聞いてください。わたしはこんな夢を見ました。7 畑でわたしたちが束を結わえていると、いきなりわたしの束が起き上がり、まっすぐに立ったのです。すると、兄さんたちの束が周りに集まって来て、わたしの束にひれ伏しました。」

8 兄たちはヨセフに言った。

「なに、お前が我々の王になるというのか。お前が我々を支配するというのか。」

兄たちは夢とその言葉のために、ヨセフをますます憎んだ。

9 ヨセフはまた別の夢を見て、それを兄たちに話した。

「わたしはまた夢を見ました。太陽と月と十一の星がわたしにひれ伏しているのです。」

10 今度は兄たちだけでなく、父にも話した。父はヨセフを叱って言った。

「一体どういうことだ、お前が見たその夢は。わたしもお母さんも兄さんたちも、お前の前に行って、地面にひれ伏すというのか。」

11 兄たちはヨセフをねたんだが、父はこのことを心に留めた。

12 兄たちが出かけて行き、シケムで父の羊の群れを飼っていたとき、

13 イスラエルはヨセフに言った。「兄さんたちはシケムで羊を飼っているはずだ。お前を彼らのところへやりたいのだが。」

「はい、分かりました」とヨセフが答えると、

14 更にこう言った。「では、早速出かけて、兄さんたちが元気にやっているか、羊の群れも無事が見届けて、様子を知らせてくれないか。」

父はヨセフをヘブロン谷から送り出した。ヨセフがシケムに着き、

15 野原をさまよっていると、一人の人に出会った。その人はヨセフに尋ねた。

「何を探しているのかね。」

16 「兄たちを探しているのです。どこで羊の群れを飼っているか教えてください。」

ヨセフがこう言うと、

17 その人は答えた。「もうここをたってしまった。ドタンへ行こう、と言っていたのを聞いたが。」

ヨセフは兄たちの後を追って行き、ドタンで一行を見つけた。

18 兄たちは、はるか遠くの方にヨセフの姿を認めると、まだ近づいて来ないうちに、ヨセフを殺してしまおうとたくらみ、

19 相談した。「おい、向こうから例の夢見るお方がやって来る。20 さあ、今だ。あれを殺して、穴の一つに投げ込もう。後は、野獣に食われたと言えよ。あれの夢がどうなるか、見てやろう。」

21 ルベンはこれを聞いて、ヨセフを彼らの手から助け出そうとして、

言った。「命まで取るのはよそう。」

22 ルベンは続けて言った。

「血を流してはならない。荒れ野のこの穴に投げ入れよう。手を下してはならない。」

ルベンは、ヨセフを彼らの手から助け出して、父のもとへ帰したかったのである。

23 ヨセフがやって来ると、兄たちはヨセフが着ていた着物、裾の長い晴れ着をはぎ取り、24 彼を捕らえて、穴に投げ込んだ。その穴は空で水はなかった。

25 彼らはそれから、腰を下ろして食事を始めたが、ふと目を上げると、イシュマエル人の隊商がギレアドの方からやって来るのが見えた。らくだに樹脂、乳香、没薬を積んで、エジプトに下って行こうとしているところであった。26 ユダは兄弟たちに言った。

「弟を殺して、その血を覆っても、何の得にもならない。27 それより、あのイシュマエル人に売ろうではないか。弟に手をかけるのはよそう。あれだって、肉親の弟だから。」

兄弟たちは、これを聞き入れた。

28 ところが、その間にミディアン人の商人たちが通りかかって、ヨセフを穴から引き上げ、銀二十枚でイシュマエル人に売ったので、彼らはヨセフをエジプトに連れて行ってしまった。29 ルベンが穴のところに戻ってみると、意外にも穴の中にヨセフはいなかった。ルベンは自分の衣を引き裂き、30 兄弟たちのところへ帰り、「あの子がない。わたしは、このわたしは、どうしたらいいのか」と言った。31 兄弟たちはヨセフの着物を拾い上げ、雄山羊を殺してその血に着物を浸した。32 彼らはそれから、裾の長い晴れ着を父のもとへ送り届け、「これを見つけましたが、あなたの息子の着物かどうか、お調べになってください」と言わせた。33 父は、それを調べて言った。

「あの子の着物だ。野獣に食われたのだ。ああ、ヨセフはかみ裂かれてしまったのだ。」

34 ヤコブは自分の衣を引き裂き、粗布を腰にまとい、幾日もその子のために嘆き悲しんだ。35 息子や娘たちが皆やって来て、慰めようとしたが、ヤコブは慰められることを拒んだ。

「ああ、わたしもあの子のところへ、嘆きながら陰府へ下って行こう。」

父はこう言って、ヨセフのために泣いた。

36 一方、メダンの人たちがエジプトへ売ったヨセフは、ファラオの宮廷の役人で、侍従長であったポティファルのものとなった。